



学校だより



墨田区立第三吾嬬小学校

校長 川中子登志雄

令和4年1月11日

1月号

ハチドリのひとしずく

校長 川中子 登志雄

皆様、新年 明けましておめでとうございます。



12月15日4年2組社会科研究授業にて

コロナ禍で迎えた2度目のお正月は、昨年と比べると、感染状況も小康状態が続き、ご家族や親類の皆様と穏やかな時を過ごすことができたのではないのでしょうか。しかし、ウイルスの新種・オミクロン株も急速に拡大が確認されています。まだまだ、気を緩めることはできません。

さて、新しい年を迎え、今年も子どもたち・保護者や地域の皆様、教職員、三吾小に集う全ての人たちの笑顔のためにできることを積極的に実行に移そうという決意を新たにしました。特に、教育目標の「自立 - 自ら学び、考え、行動する人」について、今、私たちがしっかりと身に付けるべき態度であると考えております。今年度も残り3ヶ月となりましたが、子どもたちと共に教育目標の実現を目指してがんばります。

そんなことを考えていたとき、たまたま読んでいた本に紹介されていた「ハチドリのひとしずく」というお話に強い感銘を受けました。南米アンデス地方に古くから伝わるお話で、2004年に、環境分野で初めて、アフリカの女性としても初めてノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさん（日本語の「もったいない」を世界中に広めた方です！）が、「私はそのハチドリになりたい」と語ったことで有名になりましたので、ご存じの方も多いと思いますが紹介させていただきます。

「ハチドリのひとしずく」

森が燃えていました
森の生き物たちは、われさきにと逃げていきました
でもクリキンディという名のハチドリだけは
行ったり来たり
くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは
火の上に落とされています

周りの動物たちがそれを見て
「そんなことをして、一体何になるんだ」と笑っています

クリキンディはこう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」



新年最初の朝礼で、ハチドリの行動にどんな意味があるのか、子どもたちにも考えさせようと思っています。

令和4年が始まりました。今年も皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

97.2%！『子どもを三吾小に入学させてよかった』

現在、12月にご協力いただいた学校評価保護者アンケートの結果の分析と改善策の検討を進めております。

冬休み号でお伝えしましたとおり、今年もおかげさまで回答率90.6%というすばらしい結果となりました。そして、右のグラフの通り、三吾小への満足度については、昨年度を上回る97.2%の肯定的回答をいただくことができました。私は

これを、大変心強い応援のメッセージと受け止め、今後も保護者の皆様のご期待にそえる教育活動を目指してがんばろうという気持ちを新たにいたしました。

同時に伺いました意識調査についても、貴重な意見をお寄せいただきありがとうございました。

○新しい欠席連絡・メール配信サービス「COC00」の使用状況については概ね良好なようで安心しました。問題点としては、「兄弟姉妹一人ずつに同じメールが配信されるためメールの数が多くなりすぎてしまう」「メールが多すぎる」「メールで、直に本文が見られないので不便」などのご意見がありました。システム上、2段階（届いたメールから、もう一度URLをクリックしてメッセージに飛ぶ）での閲覧については、ご容赦いただきたく思います。（このことにより、メッセージの中に添付資料や写真なども掲載できるようになりました。）兄弟関係のメールについては、改善できるよう検討しております。

○学校だより・学年だよりのホームページ掲載については、「毎回読んでいる」方が41%、「だいたい読んでいる」方が46%で、大方のご家庭にご協力いただけていることが分かりました。ご意見の中には、紙で配付してほしいという声もございましたが、環境への配慮や職員の働き方改革などの観点から、今後もデジタル化の流れを続けていく予定です。ご家庭の状況によって、紙での配付が必要な場合は、ご遠慮なく担任までご連絡ください。

○学校のきまりについては、97%の方が「おおむね妥当である」とご回答いただきました。ご意見としては、体操着について（下着の着用について）検討してほしいというものがございましたので、校内で確認と検討を行います。

○コロナ対策については、96%の方が「おおむね妥当である」とご回答いただきました。ご意見としては、「不織布マスクが負担、肌に合わない」「屋外ではマスクは外していいのでは」「消毒、除菌・換気」などが寄せられました。

アンケートの結果、自由意見等については、2月に発行する特別号で詳しくお知らせします。

